



大漁 平西丸 ~ 西南港へ寄港 ~

平成21年度同窓会総会・懇親会

西南学院高校同窓会会報

(発行日)
2009.4.30
(企画編集)
広報委員会

2008年度 西南学院高等学校同窓会総会・懇親会

【日時】平成21年6月20日(土) 19:00 ~

受付開始: 18:00 ~ (学年別の受付を準備しております)

【場所】ホテルニューオータニ博多 4階鶴の間

【総会チケット】7,000円(平成11年以降の卒業生3,000円)

チケットの購入は各学年の代表にお問合せいただくか、同封の振込用紙で振り込んでいただき、総会当日、受付にてお受取りください。なお、総会当日も受付にて販売しております。

多くの同窓生の参加お待ちしております！

当番幹事挨拶

2009年度西南学院高等学校同窓会総会当番幹事「平西会(へいせいかい)」の代表幹事をさせて頂いております織田洋輔と申します。我々は、平成最初の卒業生であり、西南学院高校で出会い、共に学んだ同級生を大切にしたいと考え、会名を『平西会』としました。

西南学院高校は今年で93年を迎えます。時代は大正から昭和そして平成へと移り変わりましたが、我らが母校はいつの時代も変わらず、素晴らしい教えや素敵な出会いという、かけがえのない心の財産を与えています。

今回、当番幹事を務めさせて頂くにあたり、心の財産をたくさん積み込んだ数多の宝船(学年)が西南港(母校)に寄港し、一同に会する港の祭りというイメージで同窓会総会・懇親会を創り上げていきたいと考えております。

6月20日の総会当日に、一人でも多くの同窓生の皆様とお会いすることができるよう、『平西会』一同力の限り努力してまいる所存です。ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、ご出席下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年度同窓会総会当番幹事(平西会)
代表幹事 織田 洋輔(平成元年卒)

同窓会会長挨拶

春暖の候、同窓生の皆様はますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年も高校同窓会独自の広報誌が、より充実した内容で皆様のもとに届けられる事を嬉しく思っております。発行にあたり、広報委員の皆様にご尽力いただきましたことに感謝いたします。

本年は同総会の役員改選の年です。私は今期をもちまして同窓会会長を退任させて頂く事となります。3期6年の間、色々な方々からご意見を頂戴し、共に考え、行動して参りました。同窓生の皆様から多大なるご理解とご協力を賜り、将来への礎ができたのではないかと考えております。誠にありがとうございました。来期からは新会長の下、新たな方針が示され、より一層活発な同総会へと発展していくと確信しております。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に今年も6月20日(土)に開催される同窓会総会へ多数のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会会長 志岐 司(昭和39年卒)

「菅崎西南会」

菅崎八幡宮ゆかりの集い

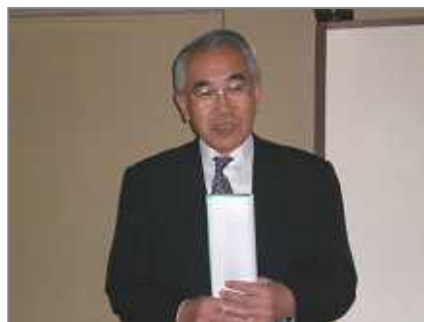
今年で九年目を迎える「菅崎西南会」です。読んで字の如し、福岡を代表する神社の一つ「菅崎八幡宮」近隣地域の出身またはお住まいの同級生で、先輩・後輩のへだてなく集まれる場を作ろうと結成されました。

会長・田村靖邦（菅崎宮宮司・昭和三十七年卒）、副会長・田中光悠（一光寺住職・昭和三十八年卒）、相談役・小石原淳一（福岡市市議会議員・昭和三十八年卒）という方々を中心に、毎年十一月に懇親会を開催しております。

母校はキリスト教、会長は神道、副会長は仏教・・・という構成で、宗教や職

業を超えた、本当に気軽な交流の場です。「菅崎」に限らず、高校を卒業された多くの方々の気軽な参加をお待ちしております。

坂本博規（昭和四十六年卒）



菅崎西南会
田村靖邦会長（菅崎宮宮司）



「雷神会」

プロバスケットチームを応援

西南学院高等学校の同窓生の中には、仕事以外でいろんな形で世の中に貢献している人も多ようです。その中でもスポーツについては以前から野球（ソフトバンクホークス）の後援者として積極的なボランティア活動を行っている同窓生たちを知っています。今回、まだ少し馴染みの薄いプロ・バスケットボールリーグ（bjリーグ）の『ライジング福岡』についてご紹介させて頂きます

bjリーグは二〇〇五年に設立され、『ライジング福岡』は二〇〇七年のシーズンから参入しております。

シーズンは十月～翌年四月まで、各チ

ーム五十二試合、東日本と西日本に分かれ現在十二チームが期間中、毎週熱い戦いを繰り広げています。前年度のライジング福岡は初参入にもかかわらず一年目からウエストリーグの三位となり、ワイルドカードに勝利しプレーオフに進出、残念ながら優勝は逃しましたが、初年より堂々の成績をおさめています。福岡に於いてプロバスケットは、プロ野球・プロサッカーに次ぐ第三のプロスポーツとして密かに(?)脚光を浴びております。私達も後援者の一員として『ライジング福岡』が目指す青少年育成と社会貢献に協調し、その発展と成果を達成できるように微力ながら協力させて頂いております。

オフシーズンには選手達も、福岡市の小学校でゲストティーチャーをかつて出て子供達の熱い視線を浴び夢と希望を与えています。また、老人介護施設へ訪問した時などは、お年寄りの方々から熱烈な歓迎を受け、涙ながらに御礼を言われた事が記憶に残っております。

この素晴らしい選手達の努力に対しても私達は出来るだけの協力をしていきたいと考えております。この協力がどこまで力になるかは分かりませんが、こんな所でも西南の仲間が頑張っていることを知って頂き、賛同される方がいらつしやれば有難いと考えております。

そして、この賛同者が増えれば増えるほど西南の同窓生が地域の発展そして青少年育成・社会貢献に寄与でき、今後の西南学院高等学校同窓生の輪も大きく広がって行くと考えています。

ライジング福岡後援会「雷神会」
会長 是松上次（昭和四十六年卒）

< 広報委員会より >

同窓会ホームページに広告を出しませんか

同窓会ホームページでは、同窓生のお店や商品、会社などを広告という形で掲載し、各業界で活躍する同窓生を紹介しています。同窓生の紹介とともに広報活動の資金を集めることを目的としています。是非ご協力お願いします。詳しくはホームページ「広告募集」をご覧ください。

同窓会ホームページ <http://www.swhob.net>

「こんなホームページがいい！」を募集します

同窓会のホームページはまだまだ成長途中です。より充実したホームページとなるために、同窓生のみならずからのご意見、アイデアを募集します。ホームページの「ご意見ご要望」からどしどしお送りください。お待ちしております。

【同窓生紹介】

各界でご活躍中の同窓生を紹介します



味酒 安則（昭和四十七年卒）

大宰府天満宮 禰宜 総務統括部長

大宰府天満宮 43 代目の社家に生まれる。国学院大学文学部卒業、大宰府天満宮奉職、昭和 56 年大宰府町文化財専門委員、平成 4 年福岡女子短期大学非常勤講師、平成 15 年客員教授、平成 20 年九州文化財国際交流基金理事長就任

「九州の大宰府の地に国立博物館を」という住民の熱い願いは、実は明治二十六年より、一世紀、世代を超えて受け継がれていたという事実を、大宰府天満宮に奉職して知りました。

東京の大学で博物館学をかじっていた私は、昭和六十三年に「九州アジア国立博物館を誘致する会」の代表幹事に推され、以来、国会、大蔵省、文化庁、自民党本部へ幾度となく陳情をしました。

先人たちの挫折につぐ挫折、しかし決して諦めない情熱、そして九州人の粘り強い誘致運動がここにはありました。平成十七年十月十六日、詮あつて、九州国立博物館がついに開館し、一般公開されました。それは、夢や幻ではなく、地元が待ちに待った国博でした。この開館を夢見て、半ばで倒れた多くの先達の方々のお顔が浮かんできます。開館一周年を待たずに十カ月余りで、入館者は二百万人を突破しました。順調な船出といえます。

今後、九州国立博物館は、二十一世紀の国博として、様々な課題がありますが、住民が誘致したという接点を最大限生かして、住民との共生、親しまれ、さらに地域の誇りとなるよう、同窓の吉室信文化財課長を応援していきたいと思えます。



西川 洋拓（昭和五十八年卒）

シャネル株式会社

昭和 62 年西南学院大学法学部卒業
同年(株)資生堂入社。国内支社、本社、海外事業所（北京、香港）に勤務
平成 17 年シャネル入社、香水・化粧品本部所属

今、振り返ると高校生活は濃縮された 3 年間だった。この間、学び、経験した事すべてが、今の自分を支えていると感じる。厳しさの中にもオープンで自主性を重んじる校風、その象徴である赤レンガのチャペル。

また生活の中心にあったヨット部での活動。残念ながら、大会では一度も入賞できなかったが、ヨットレースは、刻々と変わる環境への対応、他者（相手）との関わり、それを支える体力、精神力等、思えば人生の縮図のようなものだった。

卒業後はアジアに向けた港から出帆するが如く、北京、香港での長い海外駐在を経て、今は国内を飛び回っており、なおも充実した学びの機会をくださった学院、恩師に改めて感謝している。



福地 太郎（平成五年卒）

寿タクシー 専務取締役

平成 10 年福岡大学商学部卒業、同年福岡トヨタ自動車入社、平成 14 年寿タクシー入社、平成 17 年専務取締役に就任、現在に至る。福岡県中小企業経営者協会理事、青年協議会立志会代表世話人等を歴任

高校時代の成績は五十五人中五十四位でした。五十五位のクラスメイトが中退すると聞いて、真剣に勉学に励み五十一位まで上がった記憶があります。卒業後も、勉強が大好きで五年間大学へ行きました。それから福岡トヨタへ入社したのが私の運の尽きでした。

配属先の店長が鬼のように恐い人で、西南高校の卒業生です。その方は現在、高校同窓会の副会長を務めている大先輩にあたる訳ですが、入社間もない後輩の私を大変可愛がっていただきました。

この軍隊のように過酷な試練を乗り越えた結果、今のように本業のタクシーだけでなく、数々の公職を授かる身に成長できたのだと思います。

西南で学んだこと、そして何より同窓会の先輩後輩の強い結束が、私の人生に寄与するところ大であります。我が子三人とも西南に入れて、PTA 活動など西南のお役に立てるお手伝いをしたいと考えています。

(特集) 高校寮「カナン寮」があったのをご存知ですか？

<カナン寮の概要>

- ・鉄筋コンクリート造 3階建て
- ・2人部屋 26室、個室 20室
- ・最大収容人員 72名
- ・寮監住宅、寮母住宅を併設

<カナン寮の一日>

- 6:15 起床・体操
- 6:40 朝食
- 7:20 登校
(学校授業)
- 17:30 帰寮点呼
- 17:40 寮礼拝
- 18:00 夕食
- 19:30
(学習)
- 23:00 (23:15 消灯)
寮募集要項より抜粋



寮の正面玄関



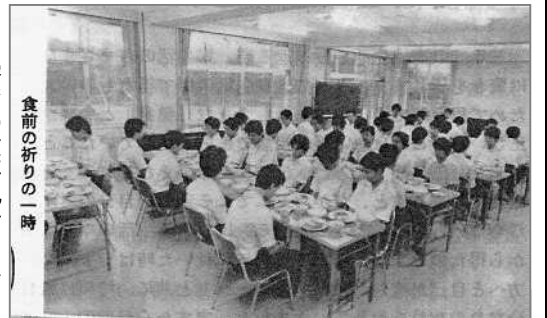
昭和四〇年代後半、遠距離通学生が増えたため、寮の必要性が求められ、昭和五〇年、神学部の寮の一部を五年期間で借り、高校の寮が出来ました。寮生第一期生は十三名でした。そして、その五年後に神学部から七〇〇m離れた地に高校の寮が建設されました。これが「カナン寮」です。

昭和五十四年五月に着工。本来は五十三年五月に着工の予定でしたが、建設地に古墳があることがわかり、着工延期となりました。昭和五十五年一月に竣工、二月十六日に木村校長、コーブランド院長ご出席の中、献堂式が行なわれ、当時の二年(昭和五十六年卒)、一年(昭和五十七年卒)がカナン寮の最初の寮生として入居しました。

寮生は基本的に部活動は出来ず、十七時三十分までに帰寮、夕食のあと学習という生活でした。時には学校から先生が来られ、補修授業も行なわれていました。



寮での食事風景(上) カナン寮(下) 神学寮時代
カナン寮最初の入居寮生
現在の寮跡地



現在は、建物も解体撤去され更地となつていますが、現在でも当時の塀と、「生徒通用門」の表示が残っています。

(資料) 西南学院高校広報・カナン寮募集要項
(協力) 西南学院企画広報課 学院史資料室

西南学院小学校 平成 22 年 4 月開校(予定)



(出典) 小学校パンフレットより

西南学院小学校設置準備室

〇九二 八三三 三三四五

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

現在、開校に向け工事が進められています。詳しい内容は、左記ホームページもしくは、小学校設置準備室まで。

来年春、西南学院に小学校が誕生します。場所は、中学・高校校舎の隣。これで、西南学院は保育所・幼稚園から大学院までを擁する総合学園となります。

一クラス三十五名、一学年二クラス、児童総数四百二十名の小学校です。開校年度には、一年から三年まで各七十名を募集する予定です。校長には和佐野氏(昭和四〇年卒)が就任予定。

西南学院の教育理念に基づくカリキュラム、毎朝の礼拝、低学年時からの外国語教育、校内に厨房を設置した食育重視の完全自校式給食、校門通過通知メール、通学路への警備員配置など心理面、教育面、安全面に特徴を持たせた小学校となります。